



佐藤 誠七 町長

平成29年度
施政方針

(要旨抜粋)

計画的な財政運営を行っていく

本町の財政状況については、社会保障関連経費や繰入金等の増加が見込まれ、加えて、少子化対策や森林・林業再生、まちづくり複合施設整備等の主要施策による歳出も見込まれており、より一層、計画的な財政運営を行っていく必要があります。また、平成29年度は、第5次白鷹町総合計画の後期基本計画が3年目を迎え、折り返しの時期でもあります。引き続き、「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」「防災」の4つの柱を重点に、各種計画等と連動し、取り組んでいきます。「まちづくり複合施設」は、平成29年度から工事に着手します。

平成29年度当初予算額		予 算 額	
会 計 項 目			
一 般 会 計		89億8900万円	
特 別 会 計	十 王 財 産 区	41万円	
	下 水 道	5億3511万円	
	国 民 健 康 保 険	19億5303万円	
	農 業 集 落 排 水	1億6873万円	
	介 護 保 険	17億115万円	
	後 期 高 齢 者 医 療	1億3347万円	
事 業 会 計	水 道	収益的支出	3億323万円
		資本的支出	1億4174万円
	病 院	収益的支出	11億5859万円
		資本的支出	1億5215万円
	訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	収益的支出	3486万円
		資本的支出	120万円
合 計		152億7267万円	

※万円未満は端数を調整しています。

総括質疑



今野 正明 議員

施策執行後の町の将来像は

問 「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」「防災」と全体に配慮した予算編成となっていく。

これらの施策の執行の後には、どのような町の将来像を描いているのか。

町長 それぞれの施策を住民の皆さんとともに着実に取り組んでいく。

第5次総合計画に掲げている「住んでいる人が愛せるまちづくり」「安心で安全なまちづくり」「改革と自立のまちづくり」の展開がはかられ、将来像としている「笑顔がやき心かよう 美しいまち」がつくられていくものと考えている。

関 千鶴子 議員

公共施設等の計画的な維持管理は

問 白鷹町公共施設等総合管理計画はこれからの行財政運営において必要な計画と認識しているが、より実効性のある計画にするためにどのようなことを考えているのか。

町長 公共施設等の情報を全庁的に共有し、総合的かつ計画的に管理するため、現在整備を進めている固定資産台帳を活用し、これらの施設情報等の可視化に取り組む。

また、長期的な視点に立った維持管理の推進により、財政負担の軽減と平準化を目指していきたいと考えている。

石川 重二 議員

林業家の経営は

問 森林の境界が明確化された地域から森林の整備を進めるとともに、町独自に伐採後の再造林への支援を行っていくとのことだが、木材価格が低迷している中で林業家の経営は成り立つのか。

町長 森林組合などを中心に、小さな面積の森林所有者を一体にまとめた「森林経営計画」を作成することにより、森林所有者に少しでも利益を還元できる仕組みづくりの手伝いをしていく。

